

いしかわの遺跡

ただいま調査中



「ねえ博士。この人たちは何をしているの？」

「発掘調査といって、何百年、何千年も地下に眠っていた私たちの祖先の生活のあとを調べているんじゃ。当時の穴や溝からは、土器や木製品などのいろいろなモノが出てくるんじゃよ。」

「わぁ！おもしろそう。私も掘ってみたいな。」

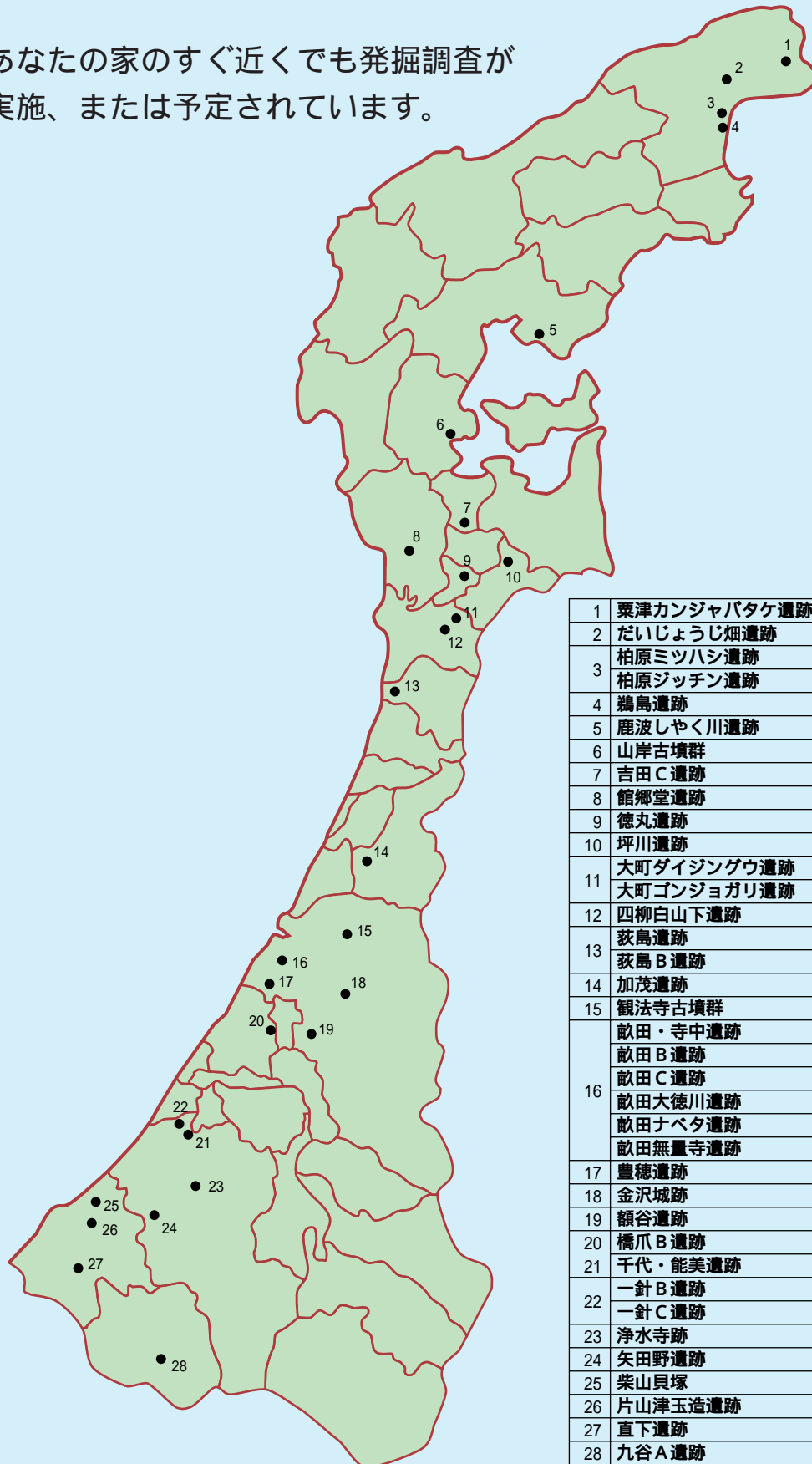
「これこれ。写真や図面で遺跡の様子を記録することは、我々の祖先の生活を復元する仕事のスタートなんじゃ。慎重にやらんとな。さて、今年は、どんな歴史と出会えるかの。」

財団法人 石川県埋蔵文化財センター
Ishikawa Archaeological Foundation

〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地 1
TEL 076-229-4477 FAX 076-229-3731
E-mail mail@ishikawa-maibun.or.jp
ホームページ http://www.ishikawa-maibun.or.jp/

平成12年度 発掘調査予定遺跡

あなたの家のすぐ近くでも発掘調査が実施、または予定されています。



1	粟津カンジャバタケ遺跡	珠洲市三崎町粟津
2	だいじょうじ畑遺跡	珠洲市若山町
3	柏原ミツハシ遺跡	珠洲市宝立町
4	柏原ジツチン遺跡	〃
4	鶺鴒遺跡	〃
5	鹿波しゃく川遺跡	穴水町鹿波
6	山岸古墳群	中島町中島
7	吉田C遺跡	田鶴浜町吉田
8	館郷堂遺跡	志賀町館
9	徳丸遺跡	鹿西町徳丸
10	坪川遺跡	鹿島町坪川
11	大町ダイジングウ遺跡	羽咋市大町
11	大町ゴンジョガリ遺跡	〃
12	四柳白山下遺跡	羽咋市四柳町
13	荻島遺跡	志雄町荻島
13	荻島B遺跡	〃
14	加茂遺跡	津幡町加茂
15	観法寺古墳群	金沢市観法寺町
16	畝田・寺中遺跡	金沢市畝田西
	畝田B遺跡	〃
	畝田C遺跡	〃
	畝田大徳川遺跡	〃
	畝田ナベタ遺跡	金沢市畝田東
16	畝田無量寺遺跡	金沢市畝田町
17	豊穂遺跡	金沢市豊穂町
18	金沢城跡	金沢市丸の内
19	額谷遺跡	金沢市額谷町
20	橋爪B遺跡	松任市橋爪町
21	千代・能美遺跡	小松市千代町
22	一針B遺跡	小松市一針町
	一針C遺跡	〃
23	浄水寺跡	小松市八幡
24	矢田野遺跡	小松市矢田野町
25	柴山貝塚	加賀市柴山町
26	片山津玉造遺跡	加賀市富塚町
27	直下遺跡	加賀市直下町
28	九谷A遺跡	山中町九谷町

7月31日現在

平成11年度発掘調査から

宇ノ気町 指江B遺跡

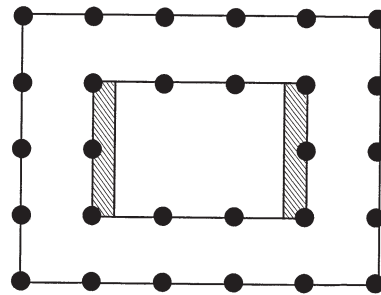
奈良・平安時代の旧河道から、建物の床板が2枚出土しました。長さは約4.4、幅約40、厚さ4あります。この床板は、寸法等の比較によって、出土地点から約50上流で検出された四面庇付建物（SB03）の床板と推定されます。

床板側面の^くくり込みの部分に、建物の柱があっていたものと推定されます。また、近くより^{はな}蹴放しという扉の下の敷居となる板も出土し、これもSB03のものである可能性があります。

SB03の建築形式は床板張りで四面に壁と戸口を設け、底部分は吹き放しの開放であったと推定されます。建物に近接した旧河道からは多量の祭祀遺物が出土することから、SB03は祭祀に伴う祭殿であると考えられます。建物内部の暗い空間でどのような儀式が執り行われていたのか興味のないところです。



調査員が床板の加工痕を拓本中！



四面庇付建物・SB03
模式図（斜線部が床板
の位置）

津幡町 加茂遺跡（第5次）



第5次C地区5001号溝の底から、建築部材などとともに2点の木簡が出土しました。この溝は、第4・5次調査で確認できた古代北陸道と直交する位置関係にあり、古代北陸道より分岐、北東方向にのびる道路側溝の可能性をもちます。

木簡は、伴出した土器から9世紀前葉と考えられます。

第2号木簡は長さ21.0 × 幅3.7 × 厚さ0.4 を測る習書木簡で、「文書 文書文書生書」と判読できます。

第3号木簡は長さ10.4 × 幅2.9 × 厚さ0.2 を測り、上下に小穴を穿つことから、いずれかの場所に貼付したと考えられます。墨書の内容は、上下に2体の神仏の可能性をもつ人物が描かれ、うち上方の人物は帽子を被っている可能性が高いと考えられます。下方の人物は一見「だるま」に近い風貌を呈します。

人物の内容、使用方法とも類例が少なく、今後も検討が必要です。

平成12年度事業のご案内

平成12年

4月

5

6

7

8

発掘調査

県内約35ヶ所で調査をおこなっています。

考古学講座

考古学や埋蔵文化財に関するテーマを、センター職員がわかりやすく解説します。

6/10

7/8

「石の考古学」
垣内光次郎

「住まいと家族」
湯尻修平

時 間 各回とも午後 1 時30分～3時

会 場 当センター研修室

参加費 無料(事前申し込み不要)

報告会



展 示

常 設 展 示

ホール展

8/1 ~ 8/31

第2回いしかわの発掘展「人と火と」

人は、火を料理や暖房、あかりなどに利用し、生活を豊かにしてきました。その有効利用の歴史を発掘調査資料を通して考えます。

会 場 当センター

施設見学

遺物整理の流れや保存処理、資料管理のしくみなどを見学できます。



体験教室



7/29 、 8/5 、 8/19

親と子の発掘体験教室

対 象 小学校4年生以上の児童と保護者20組

会 場 当センター調査現場

参加費 無料(事前申し込み要)

出前考古学教室

平成13年

9 10 11 12 1 2 3

9/9 「古墳時代の武器 - 古代の戦闘を考える -」 伊藤雅文	10/7 「金沢市戸水C遺跡・ 発掘の20年」 大西 顕	12/9 「山人の定着 - 九谷A遺跡のはじまり -」 松山和彦	3/17 「まじないと 考古学」 宮川勝次
---	---------------------------------------	---	--------------------------------

全国的に話題になっているテーマを、第一線で活躍している研究者を講師に招き、わかりやすく解説する考古学講座です。

11/18
話題の遺跡講座

時 間 午後 1 時30分 ~
 会 場 石川県社会教育センター
 参加費 無料(事前申し込み不要)

3/10
発掘速報会

時 間 午後 1 時20分 ~
 会 場 調整中
 参加費 無料(事前申し込み不要)

展示室1階 サイバーミュージアム、テーマ展示「産業の始まり」「地形と遺跡」
 展示室2階 時の回廊(通史展示)

ホール展

発掘調査の最新情報を中心とした展示をおこなっています。
 年4回展示内容を変更する予定です。

会 場 当センターホール

平日のみ。事前申し込み要。

9/30
弥生土器づくり教室

対 象 中学生以上30名
 会 場 当センター
 参加費 無料(事前申し込み要)



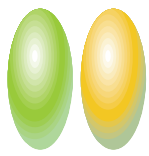
10/14
親子でつくる縄文土器教室

対 象 小学校5、6年生の児童と保護者20組
 会 場 当センター
 参加費 無料(事前申し込み要)

10/28 、29
古代体験まつり

勾玉づくり、土器炊飯、機織りなど原始古代のいろいろな生活体験ができます。
 会 場 当センター
 参加費 無料(事前申し込み不要)

学校や公民館などを対象として、考古学資料を活用した講義や展示、体験教室をおこなっています。



出土品整理その1 洗浄

出土品整理とは、遺跡から掘り出された出土品(遺物という)や、生活の跡(遺構という)を記録した図面・写真を、将来にわたって保存、活用していくために、分類・整理して資料化する作業をいいます。

なかなか知られていませんが、発掘調査は、現地作業だけでなく、出土品整理を経た後に、報告書を刊行してはじめて完了となります。今回は、出土品整理のなかの「洗浄作業」を紹介します。

泥や砂にまみれた遺物の、表面にある情報を出来る限り保持し、不要な汚れを可能な限り落とすことが、洗浄作業の目的です。そのためには、ひと味違った心配り、ワザが必要です。是非一度覗いて下さい。遺物も、水も、人も、きっとあなたの心をいやしてくれます。



文様や彩色を消さないように！



強制乾燥機で、2昼夜乾燥、その後袋詰め。



裏ワザの洗浄道具達。



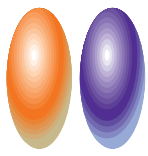
写真撮影。



洗浄メンバー
(赤羽、橋本、中村、三嶋
末富、谷川、阿波賀)

Profile

- 三嶋 強制乾燥機にはビックリ !!
- 阿波賀 毎日、多量の土器と格闘中？
- 赤羽 優しい、お姉様方に囲まれて幸せ～
- 谷川 後の仕事をスムーズにする第一歩・・・
- 橋本 遺物ケース運びは、腰にきてます !!



保存処理室その3 出土品の病院

遺跡から出土した遺物の中には土の中で分解され、ぼろぼろになってしまい手で取り上げることが出来ないものがあります。そのような遺物は、特殊な材料を使って、遺跡の土ごと切り取って持ち帰ります。

持ち帰った遺物は、発掘現場では出来なかった細かな発掘をすると同時に顕微鏡でのぞいたり、X線写真を撮るなどして、その状態を詳しく調査します。その後、遺物の下の余分な土を取り除くため、本体が壊れないように表側の正確な型をとって裏返しにし、再び発掘します。しかし、遺物は下の土が台になっていたおかげで形を保っていたので、そのままでは壊れてしまいます。そのため薬剤を浸み込ませて強化してやります。その後、割れている部分を修復すると最後には展示できる状態になります。こうして発掘現場でも壊れそうな遺物を救うことも保存処理室の仕事なのです。

加賀市黒瀬御坊山古墳出土銅鏡の処理例

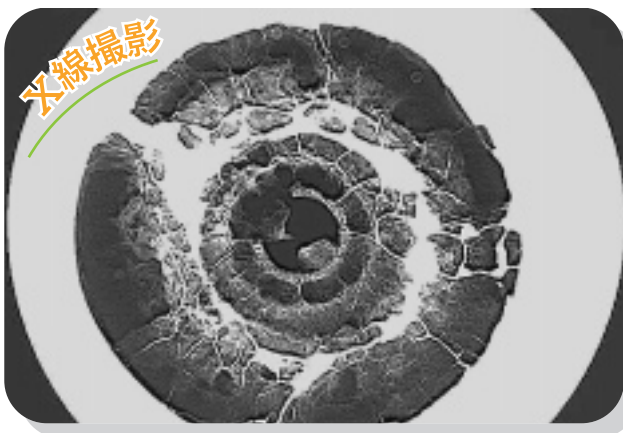
古墳時代の青銅鏡です。土圧で押しつぶされてひびが入り、辛うじてもとの形を保っていました。単独で取り上げると壊れてしまうので土ごと取り上げました。



全体にひびが入って割れている上、悪性のさびも発生しています。



蛍光X線分析でどのような材質なのか調べます。



外から見えない内部の状態を確認出来ます。



手で持つことが出来るほど強くなりました。

訪ねてみよう加賀・能登の遺跡

国指定史跡 七尾市七尾城跡

七尾城跡は七尾市街から東南約5kmの通称「城山」に位置します。この城は戦国大名として活躍した能登畠山氏が170年間にわたって能登支配の拠点としたところです。

東西約1km、南北約2kmの広い範囲に標高300mの主郭を中心として石垣や土塁などを構築し、各尾根上には平坦面となる曲輪遺構が段々に築かれています。山麓には城下町が形成されていたことも分かっており、戦国期の城郭と城下町が共存する大変貴重な遺跡です。

交通：JR七尾駅前から市内循環バス東回りコース

「ディ・サービスセンター」下車、徒歩約1時間

お問い合わせ：七尾市教育委員会 電話0767-53-8437

住所：七尾市古屋敷町・古城町ほか



国指定史跡 須曾蝦夷穴古墳



七尾湾に囲まれた能登島にある須曾蝦夷穴古墳は、一風変わった古墳として有名です。一辺20m弱の四角い噴丘には2基一対の石積み墓室（横穴式石室）があり、内部を見学することができます。板石を巧みに積み上げてドーム型の墓室をつくる技法は、朝鮮半島の古墳にも通じるとされ、全国的にも珍しいものです。古墳が造られたのは7世紀中頃、東アジア社会の激動期でした。近くには『蝦夷穴歴史センター』があり、出土品や発掘中の写真、島内の遺跡出土品などが展示されています。

交通：JR和倉温泉駅から能登島行きバス「須曾」下車、徒歩15分

お問い合わせ：能登島町教育委員会 電話0767-84-1115

蝦夷穴歴史センター 電話0767-85-2022

住所：鹿島郡能登島町字須曾夕部21-5